

第7期シリーズ第31回経営史国際会議
企画案プロポーザル募集

2012年6月12日
富士コンファランス組織委員会
委員長 宮島英昭

経営史学会では、1970 年以來、経営史国際会議（富士コンファランス）を開催してきました。富士コンファランス組織委員会が会議のテーマを決め、プロジェクトリーダーを委嘱し、プロジェクトリーダーと委員会が参加者を決定してきましたが、第6期シリーズの途中から、会員から会議のプランを公募し、委員会がそれらを審査し、運営をサポートする方式をとりいれてまいりました。第7期シリーズもその方針に従って、第29回会議、Mergers and Acquisitions in the Long-Term Perspective を早稲田大学、一橋大学の21世紀COEプログラムとの共催により2008年1月に、また、第30回会議、Innovation and Globalization を、一橋大学、早稲田大学グローバルCOEプログラムとの共催により2010年1月に実施いたしました。

次回、経営史国際会議（第31回）は、2013年度の開催を予定しており、経営史学会との共催を通じて国際会議を開催していただける会員からの企画案プロポーザルを、下記の要領で募集いたします。なお、経営史学会としては、第31回国際会議支援資金として100万円を予定しております。

記：

締切： 2012年8月25日

宛先： 経営史学会事務局

プロポーザルには、以下の点を簡潔にご説明下さい。

- コンファランステーマと趣旨の簡単な説明
- 開催時期・場所
- 海外招聘研究者数(現時点の候補など)
- 共催機関と、想定される支援資金の規模
- 暫定的な予算案

以上